

(下京ひかり) 児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア		その他	合 計	内容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生			
(1) 生活援助機能														(1) 生活援助機能 オリエンテーション：新規登録児童のみ育成室で行う。施設について・ 備品や施設使い方など、学童クラブでのルールについて指導する。
オリエンテーション	2	68			2								70	当番活動：クラスごとに縦割り班を作り、中・高学年を中心に帰りの会の進行や、夏休みの当番活動を班のメンバーで協力しあい行う。
当番活動	帰りの会・ 長期休業中													
年末大掃除	1	21	13	10	6								50	年末のおおそうじ：クラスごとに分担し、新年を気持ちよく迎えらる様、掃除を行う。
(2) 子ども育成機能														(2) 子ども育成機能 入会式：クラスごとに日にちを分けて行う。新規児童・継続児童・職員の紹介を行い、顔と名前を覚えてもらう。
入会式	2	37	22	16	6								81	
学童クラブ親子交流会	3	39	23	25	6	4		2				54	153	親子交流会：4月は梅小路公園、8月は七谷川野外活動センターでデイキャンプ、3月は館内で1年間の学童クラブの様子を撮影した動画を流す。どれも、保護者・児童・職員との交流や児童の普段の様子を見てもらうことを目的とし行う。
公園あそび	合同 11 1組 2 2組 1	81 167 160	68 211 120	113 149 35	60 203 4								32 2 730 319	公園あそび：小学校の授業短縮・長期休業日など、早く帰館する時や長く館内で生活する日などを利用して出掛ける。
お誕生日会	12	356	221	161	70	6							814	避難訓練：保育園と合同で防災・防犯訓練を行う。館内にいる際に放送が流れた場合、静かに放送を聞き職員の指示に従って行動する。
避難訓練	4	100	67	44	15	3			3				232	他館との交流：第2ブロックのオニム大会や梅小路公園で遊びを通し交流するなど、他館の児童や職員と交流する。
他館との交流	2	5	3	5	2				2				17	地域との交流：9月（敬老の日）12月（クリスマス）の日を利用して、高齢者と交流する機会を作る。こども達とゲームやふれあい遊びをし交流したり、歌やダンスの発表を見てもらう。1月には光徳すこやか学級に参加し「3B体操」を一緒にし交流した。
地域高齢者との交流	5	13	12	14	24	1							64	
NOお弁当DAY	2	52	41	32	10	2							137	
修了式	1	33	21	15	7	1							77	NO弁当DAY：夏・冬季休業中に、保護者の負担軽減も兼ねて学童クラブでお弁当を準備し、みんなで一緒に食べる。
館外保育（文化サロン）	3				20	7							27	
節分会	1	29	18	12	6	1							66 0 0	修了式：4年生に司会進行をしてもらい、2クラス合同でミニゲームや退館する児童の紹介をし、最後に1年の締めくくりとして、学童クラブよりプレゼントを全員に渡す。 館外保育（高学年）：夏季休暇中に、人数の分散や低・高学年の活動分けをする為、4年生以上の児童を昼食後に館外の文化サロンに行き自由遊びをする。
(3) 子育て支援機能														節分会：季節に応じた行事として、節分会を行う。豆まきをイメージしたコーナーや鬼のお面を作るなど、放課後の遊びとして取り入れた。
学童クラブだより配布	12													(3) 子育て支援機能 学童クラブだより：毎月うえぶさくらで配信をする。児童の様子や行事の様子の案内・保護者へのお願い・お知らせなどを記載する。 学童クラブ親子交流会案内やその他のおたよりを配信・配布した。学童クラブ行事は案内配信と一緒に申し込みもアプリ内で行う。
おたより・案内（アプリ配信含む）	17													
保護者説明会	3	6	8	5	3								138	160
保護者個別相談	8												8	保護者説明会：7・12・3月に実施。7月「夏休みについて」夏休み中のスケジュールや持ち物などをスライドを見ながら伝える。12月「新規登録者向け説明会」では、各学校の就学時健診の際に学童クラブ案内を配布し、説明会を実施する旨を周知する。学童クラブ運営についてや登録の仕方を説明する。3月「新年度について」では、新年度の状況を伝え、4月からの学童クラブの生活や運営について説明する。
介助者受け入れ	0												0	保護者個別相談：児童について、保護者から相談を受ける、また気になる児童は職員から相談を持ちかけ、児童の学童クラブでの過ごし方や対応について保護者と話しあい、職員間、必要に応じて学校とも連携し、児童がより良い方向に成長できるよう援助する。

活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
安全・衛生の確保	オリエンテーション 当番活動 避難訓練 おやつを提供 学習習慣の定着 出欠確認 帰宅指導 感染予防対策	オリエンテーション：上級生が勉強している静かな時間に学童クラブの1日の流れやルール、入口小門の開閉の仕方などを説明する。1年生だけでオリエンテーションを行ったので児童の様子を見ながら、落ち着いて話すことができたのでよかった。 当番活動：クラスごとに縦割りのグループを作る。中・高学年がリーダーとなり低学年の面倒を見ながら、帰りの会の進行などをする。こどもの考えや自主性を大事にし職員は補佐にまわることで、こども中心に当番活動を行うことができた。学校休業中は、館内と階段の拭き掃除を役割を増やす。グループ内で分担し拭き掃除に取り組むことにより一層、仲間意識を深めるきっかけとなり良かった。 避難訓練：実際に災害が起きたことを想定し、静かに速やかに職員の指示に従うよう指導をする。訓練を重ねる度にベルがなると、すぐに静かにし遊びを止めて聞き、職員の指示に従い行動できていた。 おやつを提供：帰宅するまでの捕食のためおやつを提供する。提供しながら、食べる時の姿勢やあいさつなども指導することでマナーも身に付けることができ生活体験の充実も図った。また、引き続きアレグダンをボードに表示し、児童への意識づけを行う。また、季節やイベントに応じたものも提供し、普段食べ慣れないものもあるが、少しずつでも食べれるよう量の調節をし、なるべく食べれるように配慮した。今後も好き嫌いをなく何でも食べれるよう工夫をする。
健康の管理・情緒の安定		学習習慣の定着：平日は育成室に机を準備しておき、遊びと勉強する場所を分けた。部屋を分けた事で、集中して取りくむ姿が見受けられた。学校休業日は、昼食前に勉強の時間を設けて、学習習慣が定着できるようにした。短い時間だが、自分用のドリルや本を持参し勉強する児童もいた。館内にいる時間が長いので、その中の短時間でも静かにし勉強できるよう今後も配慮する。
基本的学習習慣の確立		出欠確認：事前に退出届を提出してもらい、決まった早退・欠席などを一覧表にまとめ職員全員が確認できるようにしている。それ以外の出欠連絡については、さくらdaysと電話連絡にて保護者と連携、職員間では児童が帰館する前に職員全体で当日の出欠等について把握する時間を設け共有を図った。イレギュラーな時間の帰宅で忘れてしまうこともあるので、帰館時に児童にも帰宅時間の確認をしっかりと、5分前に声をかけるなど帰宅時間が守れるように工夫した。今後も忘れることがないように職員一人一人がしっかりと把握するようにする。
社会生活技術の獲得		帰宅指導：新年度が始まって一週間程度は17時集団帰りの児童を引率し(5条通り・7条通りまで)、新規児童の帰宅ルートやメンバー把握を児童と共に確認した。その後は集団帰りの児童を集め、職員が玄関まで見送る。見送ることなく、ふざけたり走ったりすることなく安全に帰宅する事ができた。不審者情報等があった場合は、保護者や学校と連携し職員も下校・帰宅時の見守りを行った。 感染予防対策：今年度も引き続きクラス(学校別)ごとに部屋を分けて活動・帰館時やおやつ前の手洗い・うがいの執行・児童が使った机の消毒を徹底し声掛けをする。時間が経つと疎かになっていくので、手洗い場で職員が見守るようにした。今後も見守るようにする。マスク着用は 各家庭に委ねる。(咳や体調不良の児童には着用させた。)
生活体験の拡大	入会式 おでかけ(館外保育) お誕生日会 学童クラブ親子(保護者)交流会 修了式 地域との交流(高齢者・地域すこやか学級) 他館との交流 クラス活動 年末大掃除 感染症対策	入会式：新規児童は自分で名前を言い・継続児童はそれぞれ職員が紹介し、名前と顔をお互いに見えるきっかけを作った。 おでかけ(館外保育)：昨年度より新規児童が増え、外に出ることが難しくなった。その中でも、公園に行くことで体を動かして気分転換できるので、学校の短縮授業や欠席の多い日など、様子を見て出かけるようにした。今後もなるべく出かけられる様に、学年を分け少人数にしたり、時間差で出かけるなど工夫をする。 お誕生日会：その月の最終週の木曜日に、誕生月の児童達がリクエストしたおやつを提供。またプレゼントに自分で描いた絵を入れられるボールペンと友人との写真をカードにして渡した。写真のプレゼントが定着してきたようで、写真を誰と撮るかなど、前もって考え心待ちにしている様子がうかがえた。プレゼントをいつもらえる把握していない児童がいたので、わかりやすく伝える。また、おやつのリクエストをしても、その日欠席したり、リクエストが多く一日だけで出し切れないこともあったので、最終週を利用して出すようにした。今後も誕生日会が待ち遠しくワクワクできるようリクエストに添ったおやつやプレゼントの渡し方など工夫する。 学童クラブ親子(保護者)交流会：親子で参加することで、児童たちが保護者と過ごす時間ができ、親子での様子を見ることもできた。また、他の親子と交流することで、保護者以外の大人と繋がりができたり、他児童の把握をしてもらうことで児童を理解し見守ってもらうことができた。デイキャンプでは父親に参加してもらえたことで、父親とも交流し関係性を築くことができた。また、1回はバスを使って遠出したことで、行き帰りや荷物の運搬が楽になり、大人の参加も増えたように思う。今後も、親子で参加してもらえよう、日にちの設定や場所など工夫する。
社会性の養成		修了式：3月に行う。2クラス合同でゲーム、プレゼント贈呈、退所する児童の紹介をした。4年生に司会進行をしてもらい、学童クラブで過ごす友人との時間を大切にしたり、1年を振り返ることで自分自身の成長も感じる事ができた。 地域との交流(高齢者・地域すこやか学級)：児童の歌やダンスの発表、ふれあい遊び、ゲームなどをし交流を深めた。直接交流することで、地域の方や高齢者の方から、笑顔や感謝の言葉を伝えてもらったので児童達の自己肯定感が高まっていた。施設や学童クラブの都合上、土曜日に設定しているため、こどもの参加が少ない。土曜保育以外のこどもも参加が増えるよう、声掛けや役割を与えるなど、少しでも多くのこどもたちが交流できるようにしていく。
自立の促進と自主性の尊重		他館との交流：オニム大会に参加。出場者を集ったところ昨年度出場した児童と新しいメンバーも加えて出場することになった。子ども同士で去年の経験を活かし、新しいメンバーに助言をしながら練習を重ね、お互い成長している姿が見受けられた。子どもから他館と練習したいとの声が上がったので、近隣の児童館と都合をつけて練習できる機会を設けるようにする。 クラス活動：各クラスで児童館の行事で行う遊びのコーナーを毎回考え、準備にも参加するようにした。児童達の意見を取り上げコーナーをつくっていくことで、積極的に行事に取りくむことができ、当日の行事の参加、親子での参加にも繋がっている。 年末大掃除：普段自分たちが使っている館内の部屋・おもちゃ・本などを全員で綺麗にする。始める前に物を大切にする気持ちを養うと共に新年を気持ちよく迎える準備をみんなでするよう声掛けをし取り組む。目的を話したことで、しっかり掃除に取り組むことができた。 感染症対策：手洗い・うがいの励行や、おやつで使った机を自分で消毒することにより、衛生習慣の定着を図った。大人の見守りがないと疎かになってしまうので、手洗い場になるべく職員もつくようにする。
子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだより発行 さくらdaysの活用 保護者説明会 保護者個別相談 学童クラブ親子(保護者)交流会 小学校等との連携	学童クラブだより発行：月末に毎月さくらdaysを使用して保護者へ配信。カラーで掲載できるようになったが、携帯で閲覧する人が多くサイズが小さいので見落としもあった。より見やすく作成できるように工夫をする。また、さくらdaysを使用することで、確認していない家庭が把握できるようにになり、声掛けもしやすくなった。 学童クラブ親子(保護者)交流会：親子で参加することで、学童での児童の様子や他の児童についても知ってもらうことができ、保護者同士の交流にもなった。次年度は保護者の意見も取り入れながら、需要が高まる企画を考えていく。
子育ての仲間づくり		さくらdaysの活用：メッセージやアンケート機能など便利な機能があり、手間が省けるようになった。保護者もほとんどがさくらdaysを利用しているが、さくらdaysを確認しない保護者が一定数おり、その保護者には電話や直接声掛けをしなければならなかったため、確認するよう保護者に周知することが課題。
子育てを支えるネットワーク形成		保護者説明会：7月「夏休みについて」12月「新規登録予定者向けの登録について」3月「新年度について」の説明会を行う。12月の新規向け説明会では、学校の就学時健診にて児童館の案内を配布し、その案内に日時や開催内容を載せて来てもらうようにした。ある程度の新規申込保護者が来てくださったので、今後も案内に載せるようにする。 保護者個別相談：職員から積極的に児童のことで気になることがあれば良い悪いに関わらず、保護者へ伝えるようにし、コミュニケーションをとり、保護者が相談しやすい関係作りに努めた。児童の様子を把握し、児童・保護者との関係を築いていく。 保護者の行事お手伝い：各児童館行事に保護者のお手伝いを集う。児童館・学童クラブ事業の様子を見てもらい理解を深めてもらっている。また、保護者同士のつながりや職員とのコミュニケーションをとる場にもなっている。有志のため参加が少ないので、参加しにくくなるよう言葉がけやメリットを伝えていく。 小学校等の連携：入所前に新規のこどもの引継ぎを各保育・幼稚園等に連絡を取り連携する。事前にこどもの様子や家庭状況など知ることで、受け入れや対応の仕方を職員で共有することができるので、今後も引継ぎをしていく。また小学校とは、夏休み・冬休み前に学校と学童在籍児童について情報共有を行う。必要な児童は、学校と学童での指導・支援方法を共有して様子をみながら、その都度電話などでも報告をした。学校と関わり方を共有することで、一貫した支援が児童やその家庭にできるので、今後も連携を図る。